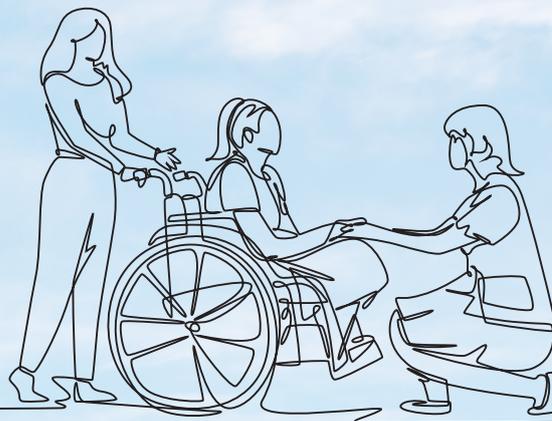


Business Report

2025年3月期 (第53期)
中間事業報告書
 (2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日)



Q1 上半期の営業状況についてご説明願います。

A

日本国内の売上高は6,341百万円となり、前年同期比で212百万円増（同3.5%増）となりました。（「収益認識に関する会計基準」に基づき、販売促進費の一部控除後）

人工関節分野では、BHA（人工骨頭挿入術）用の治療材料が二桁成長を記録しましたが、その他の人工関節製品は米国で発生しているサプライチェーンの問題から出荷を制限したため、減収となりました。

骨接合材料分野では、大腿骨頸部骨折の治療材料が順調に推移しました。脊椎固定器具分野においては、市場が継続拡大しているBKP市場で当社も二桁成長を遂げ、同分野の成長に貢献しました。

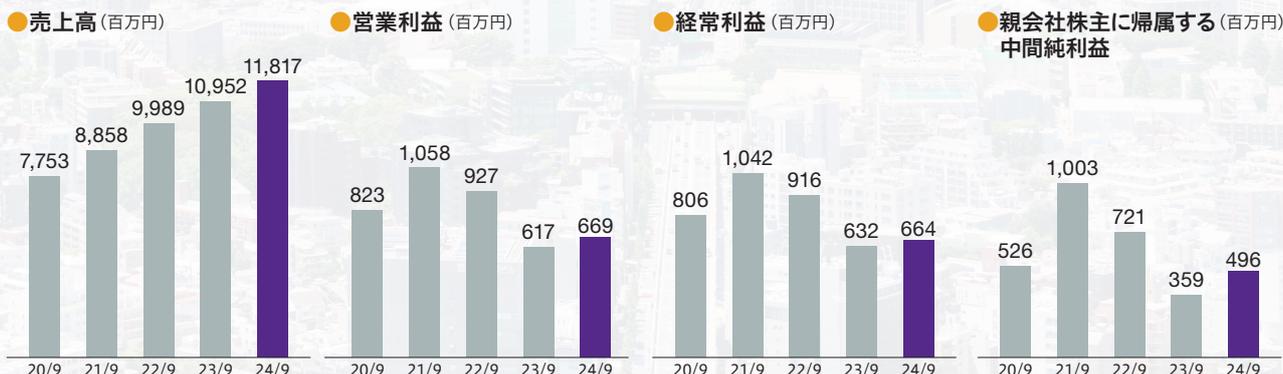
米国では、USドルベースで前年同期比+5.3%の成長を達成しました。一部の人工関節製品においてサプライヤーからの製品供給が滞り、出荷制限を余儀なくされたものの、再置換用インプラントであるBKS Revisionや、昨年度に市場導入した膝関節部分置換用のBKS Uniを積極的に展開しています。製品分野別では、人工膝関節製品の獲得症例数が伸長し、+8.4%の成長を実現しました。一方、人工股関節製品の成長は鈍化しましたが、競争力のある新製品Trivicta Hip Stemを9月に導入しており、下半期以降の拡販に注力します。

結果として、米国の外部顧客向け売上高は35百万USドル（前年同期比1.8百万USドル増、同5.3%増）に拡大し、円換算後では円安の影響により5,476百万円（前年同期比653百万円増、同13.5%増）となりました。（ご参考：前年同期の米国売上の換算レートは1USドル=141.31円、当中間期は152.34円）



代表取締役社長
弘中 俊行

連結業績ハイライト



Q2 下半期の取り組みと通期業績の見通しをお聞かせください。

A

今回、通期業績予想の変更は行っておりません。当社収益に大きな影響を与える為替については、通期業績予想において期初設定の想定レート1USドル=150円を維持しています。営業利益に対する為替感応度は1円あたり約20百万円です。なお、本年度の総輸入仕入の約7割弱については、1USドル=150円より円高のレートで為替予約を済ませており、業績予想に対して大きな為替によるマイナス影響はないと見込んでいます。

また、本年4月に実施された保険償還価格の引下げによる営業利益の減益インパクトは、期初に前年度売上高対比で△0.3%となり、通期で約△0.5億円の影響を見込んでいるため、期初見通しを据え置いています。

新製品について

昨年度、日本国内で販売を開始したPromontory Hip Stemは、BHA（人工骨頭挿入術）の獲得症例数を拡大しており、下半期もこの傾向が続くことを期待しています。米国では、今年3月にFDAの承認を取得した新製品Trivicta Hip Stemを9月に施設限定で市場導入しました。手術現場での問題がないことを確認しながら、順次導入施設を拡大し、売上拡大を目指します。

サプライチェーンの強靱化について

サプライヤーを順次複社化し、一部は自社での設備投資により内製化を進めており、製品供給の安定とコスト削減に取り組んでいます。今期末の内製化率は26%を目標としており、優秀な外部人材の登用による体制強化も進めています。

中国について

中国政府による整形外科インプラントの国産化と集中購買への対応を進めています。中国での現地製造に関しては、今年3月に中国の合併会社WOMA社が人工関節の製造許可を取得し、製造設備へ投資のうえ製造を開始しました。また、中国政府の集中購買入札に応札し、2年間の販売許可も取得しました。今後は販売網の構築と中国製人工膝関節製品の拡販を目指します。

Q3 SAICOプロジェクトの進捗状況についてお聞かせください。

A

上半期は、製造原価削減目標を上回る成果を達成しました。整形外科インプラントにおいては、複数の人工関節製品の製造工程を複数の製造委託先に分散することで製造コストの削減が進んでいます。今後も品質を確保しながら、薬事対応など必要な手続きに細心の注意を払い、着実に進めてまいります。また、製造コストのさらなる削減と納期短縮の実現を目指し、新たに自動切削機械を導入しており、年度内に稼働を開始する予定で、現在さまざまな準備を進めています。

内製化比率の拡大については、製造コスト削減を主要な目標とし、上半期の実績は22.3%となりましたが、今期末までに26%を目指して取り組んでおります。医療工具についても、中国の合弁会社WOMA社から人工膝関節用の医療工具の調達を米国において開始しており、調達コスト削減にも一定の成果を上げています。

Q4 株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A

株主還元につきましては、配当性向を踏まえ、年間配当を1円増配し15円とする予定です。株価がPBR1倍を下回る状況が続き、株主の皆様にご心配をおかけしておりますが、当社は企業価値の向上に向け、長期VISION「RT500」を策定し、達成に向けた具体的な行動を本格化しております。

長期VISION「RT500」の「1st Stage（2025年3月期から2027年3月期）」では、新製品の拡販により米国での顧客基盤を広げ、日本市場では専門性強化を通じて事業を成長させ、中国では販売基盤の構築に注力することで販売力を強化してまいります。さらに、ROICの改善を目指した製品ポートフォリオマネジメントの強化や安定的な製品供給を実現するためのサプライチェーン強靱化に取り組み、企業価値の向上を推進してまいります。

高齢化が進む日本はもちろん、米国や中国でも整形外科治療材料へのニーズは今後も増加が見込まれます。当社は「患者さんのQOL向上に貢献する」というパーパスのもと、「医療現場ニーズを把握し、治療価値向上に資するサービスをより高い専門性・品質をもってタイムリーかつ安定的に医療現場に提供する」という経営方針を掲げ、これからも一層の努力を重ねてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社の成長にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後も株主・投資家の皆様からの信頼に応えるために努力を続けますので、今後とも当社事業への厚いご支援を賜りますようお願い申し上げます。